

株式会社笠盛

群馬県桐生市

需要獲得
ものづくり

伝統技術と先端技術を融合させ、日々進化し続けるカサモリレース

1877年に和装帯の織物業として創業。その後、ジャカード刺繍機を導入して刺繍業に転身。徐々にオリジナル刺繍技術が確立され独自技術「カサモリレース」を開発した。さらにこの技術を応用し、オリジナルブランド「000」(トリプル・オウ)を誕生させた。国内外で開催されるファッション付属品展示会に出展し、数々の受賞実績を有する。また、刺繍技術向上に日々取り組み、球体刺繍技術に関する特許を取得するに至るとともに、同社商品が経済産業省「the wonder500」に認定された。

所在地 群馬県桐生市三吉町1-3-3
電話/FAX 0277-44-3358 / 0277-44-3387
URL <http://www.kasamori.co.jp/>
代表者 代表取締役会長 笠原 康利

設立 1877年
資本金 1,000万円
従業員数 27人



独自技術「カサモリレース」とオリジナルブランド「000」

群馬県の「一社一技術」にも指定された、独自技術「カサモリレース」を開発。かぎ針によってつくられる多色の特殊なレースで、この技術を応用して誕生したのが自社オリジナルブランド「000」。糸からアクセサリーを作るといった新しいコンセプトで、素材には貴金属の輝きをもつメタリック糸、上質なシルク、シルクと光沢素材のブランド糸などを用いている。さらに、卓越した職人技術と、社内デザイナーによるシンプルかつタイムレスで個性的なデザインとの融合により、顧客から高い評価を得ている。



「カサモリレース」と「000」

海外への挑戦が現在の笠盛を作った

インドネシアに現地法人を設立し海外展開をスタート。その後、パリのファッションにカサモリレースのネックレスを出展、VIP PRODUCTに認定。パリのメゾンエオブジェ、ニューヨーク・インターナショナルギフトフェア、ドイツのアンビエンテにも出展。その結果、ココシャネルのハイプライスゾーンの製品への採用、New Yorkのトムブラウンの原反刺繍、セリーヌのデザイナーの来社、などの実績を得られた。今後も、越境ECやクラウドファンディングを活用した新たな海外販路の開拓にも注力していく。



海外にも通用する高い技術力

人材育成が同社を支える大きな原動力に

全従業員27名のうち19名が女性。さらに内9名を管理職・リーダー職に登用。女性が働きやすい環境の整備を進めており、離職率も非常に低い。また、次世代の職人の育成と人間教育の観点から、毎月1回「笠盛人の日」を設定し業務時間中にディスカッションを実施。各分科会の活動報告と活動計画の発表を通じて、従業員が積極的に企画や新商品開発に携われる機会を設けている。「絶えず変革・挑戦」を社是とする当社の発想力・行動力の源泉となり、「カサモリレース」や自社ブランド「000」の誕生に結びついた。



働く女性にやさしい現場

需要獲得

ものづくり